

2021年12月13日

防衛大臣 岸 信夫 様  
百里基地司令空将補 石村 尚久 様

茨城平和擁護県民会議	代表	鈴木博久
茨城県平和フォーラム	代表	千歳益彦
平和運動センター関東ブロック連絡会	代表	中條貴仁
フォーラム平和・人権・環境	共同代表	勝島一博
全国基地問題ネットワーク	事務局長	桐田達也

## 百里基地での日米共同訓練中止を求める申し入れ

12月13日から17日にかけて、航空自衛隊百里基地を使用した日米共同訓練の実施計画が発表されました。私たちは、憲法を無視し、米軍の世界戦略に日本を巻き込み、日米軍事一体化を推し進める日米共同訓練の実施に対して、反対と抗議の意思を表明します。

2006年5月1日に日米両政府が締結した「再編実施のための日米のロードマップ」から15年が経過しますが、訓練移転は「米軍基地周辺の負担軽減」にはなっていません。

沖縄の米軍嘉手納基地について、嘉手納町議会は「嘉手納基地における米軍機の騒音激化に抗議する決議」をこの間何度も採択し、基地の運用は過密になっており、「米軍再編ロードマップで合意された負担軽減に取り組むべき」と、騒音激化に抗議の意見書を日米両国へ提出しています。

つまり、「ロードマップ」に基づく、各地での日米共同訓練の実施は、当初から懸念してきた通り米軍基地被害を全国に「たらいまわしにする」ことに他ならず、基地周辺の負担軽減ではなく、負担強化となっていることを直視しなければなりません。

この間、国内では米軍との共同軍事演習が増加する中で、米軍機の墜落、不時着、部品落下事故などが頻繁に発生しています。先月30日には、三沢基地所属の米空軍F16戦闘機が、青森空港に緊急着陸する前に燃料タンク2個を投棄し、1個を住宅街に落しましたが、もし人家に落下した場合は人命に関わる大惨事にもつながりました。

百里基地でも過去にF4戦闘機の炎上事故や部品落下事故や墜落事故も発生しており、重大事故が発生してからでは遅いのです。

つきましては、基地負担を周辺住民に押し付ける政策に反対し、下記の申し入れを行ないます。

### 記

- 一、百里基地は、茨城空港との民間共用であり、日米共同訓練は中止すること。
- 一、基地周辺住民の負担増をもたらしてきた「日米ロードマップ」の見直しを図り、百里基地を含む国内の訓練移転計画を中止すること。
- 一、米兵による事件・事故防止のため、基地外出禁止を徹底すること。
- 一、普天間飛行場の閉鎖・無条件の返還を求めると共に、沖縄知事が「不承認」を示した辺野古への新基地建設工事は断念し、中止すること。

以上